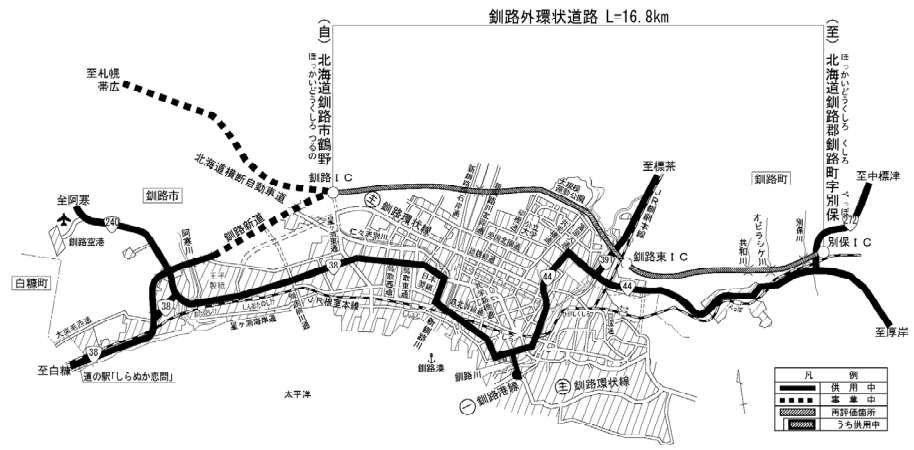


再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 一般国道38号・44号 釧路外環状道路 <small>くしろそとかんじょう</small>	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局
起終点 自：北海道釧路市鶴野 至：北海道釧路郡釧路町字別保	延長 16.8km	
事業概要 釧路外環状道路は、北海道横断自動車道に並行する一般国道38号及び44号において、高速ネットワークを形成し、物流の効率化や地域プロジェクトを支援するとともに、釧路市街地における交通混雑を解消し、一般国道38号釧路新道と一体となって釧路都市圏の広域環状道路を形成することを目的とした延長16.8kmの一般国道の自動車専用道路である。		
H7年度事業化 全体事業費 約604億円	H10年度都市計画決定 事業進捗率 55%	H10年度用地着手 供用済延長 — km
計画交通量 16,700台/日		
費用対効果分析結果	総費用 (事業)/ (事業全体) 283/635億円 事業費 ：242/594億円 維持管理費 ：41/41億円	総便益 (事業)/ (事業全体) 1,200/1,200億円 走行時間短縮便益 ：989/989億円 走行費用減少便益 ：154/154億円 交通事故減少便益 ：57/57億円
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.1 (交通量+10%) B/C=1.7 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.7 (事業費+10%) B/C=2.1 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.7 (事業期間+20%) B/C=2.1 (事業期間-20%)		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（年間渋滞損失時間の削減が期待される） ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる） ・物流効率化の支援（農産物の流通の利便性向上が見込まれる）		
関係する地方公共団体等の意見 釧路市を始めとする関係1市8町1村の首長で構成される北海道釧路地方総合開発促進期成会及び根室市を始めとする関係2市12町1村の首長で構成される北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会より、毎年事業促進の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 釧路市街では、国道44号木場・桂木周辺など商業系用途地域が拡大している。また、当該路線と一体となり広域環状道路を形成する釧路新道9.0kmの内、4.5kmの供用が開始されている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 すでに、設計、測量、地質調査については、全線完了しており、用地進捗率66%、事業進捗率55%である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見直し等 事業区間のほとんどが、軟弱地盤であり、対策工法を必要とする。又、有姿分譲地等が多数存在しており用地補償に時間を要しているが、現在までに55%が完成しており、平成20年代前半に全線供用の予定である。		
施設の構造や工法の変更等 耐候性鋼材の採用によるライフサイクルコストの縮減や、縦断線形の見直しによる土工量の低減等の設計手法見直しにより、コスト縮減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの